

平成25年度学長裁量経費研究推進支援プロジェクト研究成果報告書

1. 研究の概要

プロジェクト名	高大連携家庭科「保育」映像教材の開発		
プロジェクト期間	平成25年5月1日～平成27年3月31日		
申請代表者 (所属講座等)	甲斐 純子 (家政教育講座)	共同研究者 (所属講座等)	豊田 晴一 (家政教育講座)
取組方法・取組実績の概要	<p>1. 中高生向け保育DVD教材の開発 (平成25年5月～9月) 福岡県柳川市F保育園の協力を得て、0歳～6歳までの年齢別に ① 身体の発達, ② 食事, ③ 衣服の着脱, ④ 遊びの違いについて撮影。(静止画と動画) M高校家庭科教員の助言を参考に写真を編集。 ② 県立M高等学校でのアンケート調査と開発DVD教材を取り入れた保育授業の実施 (平成25年10月～11月) 授業実施クラスは2クラス。 普通科2クラス及び特別進学クラス 生徒数 計75名。保育授業回数は各クラス8回。 実験群: 普通科Aクラスで作成DVD教材を使用。 比較群: 普通科Bクラスと特別進学クラス ③ 開発DVD教材の, 生徒の保育に関する知識形成への効果の検証 (平成25年12月) 上記授業後, 知識の定着度についてのアンケート(テスト形式)を実施し, 2クラスの知識の定着度について得点化し比較した。</p>		
研究成果の概要	<p>研究成果の概要 高等学校新指導要領「保育」において, 幼稚園や保育所等訪問による乳幼児との触れ合い体験が位置づけられた。触れ合い体験に望んで, 高校生が乳幼児の生活や活動を適切に援助するためには, 子どもの発達段階を実際に観察する経験が重要である。高校生に対して学習前に幼児に対するイメージ等, 学習後に定着度等をアンケート調査した後, 実験群の生徒に直接体験を補う教具としてのDVD教材を視聴させた。以下の4項目について実験群と比較群の理解度の違いについて検討を加えた。 (アンケート調査の結果)6項目について記述させたところ, 全体的には実験群と比較群との間で大きな差はみられなかった。 (作成した保育DVDの内容) 1 身体の発達 (静止画:1歳から5歳までの年齢順と性別年齢別に並べた写真) 2 食事の仕方 (動画:0歳, 1歳, 3歳, 4歳, 5歳:昼の給食) 3 衣服の着脱 (動画:1歳, 3歳, 5歳:上衣とズボンまたはスカートの脱ぎ着とたたみ方) 4 遊び方 (動画:1歳, 3歳, 5歳:絵本, ブロック, ママごと, 積み木, 外遊び) 上記4項目についての知識の定着度は, 実験群と比較群の間に有意差はみられなかった。 身体の発達や衣服の着脱については, 教科書のみと比較群よりも, 映像教材が加えられた実験群の方が得点が高かった。今回, M高等学校はいわゆる受験校であるため授業時間数が少なく, 授業者である家庭科教員の要望で, 4項目とも年齢ごとに1分程度に短縮した映像を見せざるを得なかった。もう少し長時間ストーリー性を持たせた映像を見せることによって知識の定着度は高まると考えられる。</p>		
外部資金獲得申請及び研究成果の公表方法等について [<input type="checkbox"/> (該当事項) にチェック方願います。]			
外部資金獲得申請 (予定)	<input checked="" type="checkbox"/> 科学研究費補助金 <input type="checkbox"/> 受託研究費: <input type="checkbox"/> その他 ()	研究成果の公表方法 (予定)	<input checked="" type="checkbox"/> 学会 (<u>国内</u>)・国外): 家庭科教育学会九州地区会 <input type="checkbox"/> 新聞・図書・雑誌論文等: <input type="checkbox"/> その他: